



市議会議員  
**砂田喜昭**  
Tel 67-4322



参議院議員  
**たけだ良介**



市議予定候補  
**上田由美子**

「下水道が来たらどんな負担があるのですか。」  
ある集会で下水道の負担について質問が出されました。  
下水道が市内でもかなり普及しましたが、まだこれからとい  
う地域も残っています。そこで改めてお知らせします。

### ◎下水道受益者負担金

下水道が整備され、つないだときに一度だ  
け、下水道受益者負担金が求められます。下水  
道整備費の一部を利用者に負担してもらう制  
度です。三年間で分割払いです。一度に納める  
こともできます。

### ◎受益者負担金は宅地面積に応じて 住宅の最高限度額 48・9万円

下水道の受益者負担金は住宅の宅地面積に  
応じて決まります。住宅地の場合、1㎡652  
円です。しかし、宅地が広い農家などは莫大な金額になる懸念があります。  
そこで小矢部市では500㎡までは単価652円ですが、500㎡から10  
00㎡まではその半分に軽減します(362円)。1000㎡以上は免除するので、住  
宅地の場合最高額が48万9千円になります。宅地面積400㎡なら26万800  
円、660㎡なら37万8160円です(表参照)。

### 接続時に一度だけ

### ◎下水道使用料

その後、毎月の使用料が求められます(今年度から2カ月分まとめて請  
求されます)。下水道の維持管理費用の一部負担です。その料金は上水道  
の使用量によって請求されます。10立方メートル1650円です。井戸  
水の場合は、世帯人数に応じて決められます。二人世帯は1650円で、  
一人増える毎に4立方メートル分(660円)加算されます。

## 下水道にどんな負担金？ 毎月に

	宅地面積	400㎡	660㎡	1300㎡
受益者負担金 単価	500㎡まで 652円	400×652= 260,800円	500×652= 326,000円	500×652= 326,000円
	500から1000㎡ 326円	0円	160×326= 52,160円	500×326= 16,300円
	1000㎡以上は 減免	0円	0円	300×0= 0円
受益者負担金		260,800円	378,160円	489,000円

## 物価高騰！！ 給食費に支援を



### 新日本婦人の会小矢部支部 上田由美子支部長ら 市長、教育長に要請

物価高騰が家計にも、学校給食にも深刻な影響を及ぼしています。  
新日本婦人の会小矢部支部は6月3日、桜井市長と栢元教育長に面会  
し「学校給食への公的援助を急ぎ、子どもたちの成長を保障してくださ  
い」と要請しました。要請に訪れたのは上田由美子支部長他3名で、砂  
田市議も同席しました(写真)。要請項目は次の2つです。

- ① 食料品や配送コストの値上げによって、給食内容が削られたり、  
給食費の保護者負担が増えることのないよう公費の補助を増や  
してください。
- ② 国際情勢によって食の供給や安全がおびやかされないよ  
う、給食に地場産、国産の食材を使用してください。  
新婦人の皆さんからは、「子どもたちが給食を楽しみにしてい  
る」、「給食が子どもたちの大切な栄養補給になっている家庭もある」、  
「子どもたちがみんな一緒に食べるのでおいしいのだと思うし、残  
さない」、「給食費が一人月5千円もする。せめて第二子、第三子  
の給食費を無償にできないか」などの声がだされました。  
市は「給食費の値上げは考えていないし、給食内容を維持する、  
そのために積極的に対応したい」と答えました。

### 32年前の議論

「県下一高い」と異論噴出  
小矢部市の下水道受益者負担金  
は32年前、1989年12月議会で  
決まりました。当初市は9月1日  
に、産業建設常任委員会722  
円にしたいと説明がありました。それが  
県下一高かったため、砂田委員をはじめ  
ほとんどの委員から異論が出され、9  
月議会には提案されず、12月議会での  
議決となりました。

### 砂田市議の質問に 「精一杯引き下げの努力をする」

石本助役(当時)

この問題を9月議会一般質問で取り  
上げた砂田議員は、①受益者負担金を  
算出する基礎になる工事費から、幹線  
工事費(小矢部市から流域下水道に接  
続するまで他市に比べて距離が遠い事  
情がある)や国の補助金の分を差し引い  
て、市民の受益者負担金を軽減するこ  
と、②富山市がそのようにして419円  
に抑えている実例があることを指摘し、  
当初案の引き下げを求めました。砂田  
議員の再質問、再々質問に石本助役(当  
時)は「精一杯引き下げの努力を  
する」と答え、12月議会で現在の受益  
者負担金になりました。

### 後日談 「明るい小矢部」が 市政を動かした



この9月議会での議論を報じた「明  
るい小矢部」89年11月15日付に対し  
て、同年12月議会最終日、産業建設常  
任委員長が「共産党が市民に混乱と戸  
惑いを与えた」と攻撃し、議案審査結果  
報告とは無関係に「共産党に抗議する」  
と述べる異例の事件が起きました。日  
本共産党と砂田市議はただちに議長に  
「厳重な対処」を要求しました。

「明るい小矢部」は議会での議論や市  
政の問題点をリアルに市民に知らせ、改  
善方法を示し、世論の力で市政を前進  
させてきました。主権者・市民の声が妨  
害を乗り越える力を発揮し、政治を変  
えます。この伝統は現在にも引き継が  
れています。